

組 合 の 概 要

(平成30年度)

平成30年7月1日現在



亘理名取共立衛生処理組合

事務局所在地：宮城県岩沼市下野郷字新藤曾根1番地の1

TEL 0223-22-1717 (代表)

0223-23-1142 (し尿処理の問合せ)

0223-23-1178 (ごみ処理の問合せ)

FAX 0223-22-2793

E-mail nwkk02@themis.ocn.ne.jp

URL <http://www.watanakyoei.jp>

目 次

1	組合の沿革	1～2
2	地域の概要(地理・地形的特性)	3
3	人口及び面積	3
4	行政機構	4
	(1) 執行機関	
	(2) 議決機関	
	(3) 委員会組織	
	(4) 組織図	
5	財 政	5
	平成 30 年度一般会計予算 歳入・歳出	
6	施設の概要	5～6
	【ごみ処理施設】	
	(1) 岩沼東部環境センター	
	(2) 亘理清掃センター	
	(3) 岩沼清掃センター(旧：ごみ焼却施設、現：ストックヤード)	
	(4) 岩沼一般廃棄物最終処分場	
	【し尿処理施設】	
	(5) 浄化センター	
7	ごみ処理事業	6～7
8	ごみ処理の実績(平成 28 年度)	7～10
	(1) 市町別排出量及び一人当たり一日の排出量	
	(2) 種類ごとの市町村搬入状況	
	(3) 収集運搬等搬入量	
	(4) 市町別ごみ搬入量推移(平成 22 年度～平成 28 年度)	
	(5) 収入状況	
	①ごみ処理手数料(施設別)	
	②資源物売却量及び収入額(施設別)	
	(6) 施設別焼却処理量	
	①名取クリーンセンター	
	②亘理清掃センター	
	(7) 施設別埋立量	
	①岩沼一般廃棄物最終処分場	
	②亘理一般廃棄物最終処分場	
	(8) ダイオキシン類測定値(施設別)	
9	し尿処理事業	11
10	し尿処理の実績(平成 28 年度)	11～13
	(1) 市町別し尿処理人口(外国人を含む。)	
	(2) 生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量	
	(3) し尿処理手数料収入状況	
	(4) 市町別搬入量推移(平成 22 年度～平成 28 年度)	
	(5) 水質検査結果	
	(6) ダイオキシン類測定値	

1 組合の沿革

- ・ 昭和38年 2月 亘理名取共立衛生処理組合設立 構成市町 名取市、岩沼町(当時)、亘理町、山元町(昭和46年11月岩沼市制施行)
- ・ 昭和39年 9月 岩沼町(当時)早股地区にし尿処理場の建設着工
- ・ 昭和40年 3月 し尿処理場竣工 4月より名取市、岩沼町(当時)、亘理町及び山元町のし尿処理開始
- ・ 昭和45年10月 岩沼町(当時)寺島地区にし尿処理場第1施設建設着工
- ・ 昭和47年 3月 し尿処理場第1施設竣工 4月より稼働
- ・ 昭和52年 3月 し尿処理場第1施設の隣接地に第2施設の建設着工
- ・ 昭和53年 2月 岩沼市早股地区のし尿処理場の解体完了
- ・ 昭和53年 3月 し尿処理場第2施設竣工 4月より稼働
- ・ 平成 3年11月 現在地に浄化センターの建設着工
- ・ 平成 5年12月 浄化センター一部供用開始
- ・ 平成 6年12月 し尿処理場第1施設及び第2施設の解体完了
- ・ 平成 6年12月 管理棟の建設が完成し、浄化センター竣工
- ・ 平成14年 4月 ごみの広域処理(名取市、岩沼市、亘理町及び山元町のごみ処理)を開始
- ・ 平成17年 8月 「循環型社会形成推進地域計画」策定
- ・ 平成17年10月 岩沼清掃センター焼却施設の解体着工
- ・ 平成18年 6月 岩沼清掃センター焼却施設の解体完了
- ・ 平成18年12月 岩沼清掃センター焼却施設解体跡地にストックヤード(紙類・布類の分別及び保管施設)竣工
- ・ 平成19年 8月 「一般廃棄物処理施設(新ごみ焼却施設・新最終処分場施設)整備基本計画」策定
- ・ 平成19年12月 「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」策定
- ・ 平成20年 8月 「亘理名取共立衛生処理組合地球温暖化対策実行計画(温室効果ガス総排出量抑制に係る実行計画)策定
- ・ 平成20年 9月 岩沼一般廃棄物最終処分場2期工事着工
- ・ 平成21年 1月 「循環型社会形成推進地域計画」策定
- ・ 平成21年 2月 岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事着工
- ・ 平成21年 3月 岩沼一般廃棄物最終処分場2期工事竣工
- ・ 平成21年 3月 岩沼清掃センター粗大ごみ処理施設解体撤去工事完了
- ・ 平成23年 3月 東日本大震災(3月11日)の津波により浄化センター及び亘理清掃センターが壊滅的な被害を受け使用不能となる
- ・ 平成23年 9月 亘理清掃センター工場棟災害復旧修繕として14億7,000万円で三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社東北支店と契約締結

- (工期：平成 23 年 9 月から 24 年 8 月まで)

・ 平成 23 年 12 月 亘理一般廃棄物最終処分場災害 (台風 15 号) 復旧修繕
(工期：平成 23 年 12 月から平成 24 年 3 月まで)
- ・ 平成 24 年 2 月 白石衛生センター (仙南地域広域行政事務組合所管施設)
を借上げし、修繕を行いし尿処理業務開始
処理能力：65 キロリットル/日
- ・ 平成 24 年 3 月 新焼却施設建設用地の買収及び登記完了
- ・ 平成 24 年 4 月 浄化センター復旧修繕として 15 億 2,250 万円でアタカ
大機株式会社東北支店と契約締結
(工期：平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月まで)
- ・ 平成 24 年 9 月 亘理清掃センター復旧修繕が完了し、本格稼働開始
- ・ 平成 25 年 3 月 新一般廃棄物最終処分場建設候補地選定業務委託として
9,975 千円で株式会社エイト日本技術開発東北支社と
契約締結
- ・ 平成 25 年 3 月 新ごみ処理施設建設工事 104 億 6,325 万円で川重・熊谷・
佐藤 建設工事共同企業体と契約締結
(工期：平成 25 年 4 月から平成 28 年 3 月まで)
- ・ 平成 25 年 3 月 浄化センター復旧修繕完了し、本格稼働開始
- ・ 平成 25 年 4 月 新ごみ処理施設建設工事着工
- ・ 平成 25 年 4 月 白石衛生センターを仙南地域広域行政事務組合に返還
- ・ 平成 25 年 10 月 新ごみ処理施設建設工事安全祈願祭
- ・ 平成 26 年 3 月 「一般廃棄物 (ごみ・生活排水) 基本計画」策定
- ・ 平成 27 年 12 月 新ごみ処理施設建設工事火入れ式
- ・ 平成 28 年 2 月 組合事務局移転
- ・ 平成 28 年 3 月 名取クリーンセンター施設稼働停止
亘理清掃センター焼却炉稼働停止
岩沼清掃センター一般搬入終了
新ごみ処理施設建設工事竣工 (総額 110 億 2,485 万円)
- ・ 平成 28 年 4 月 岩沼東部環境センター (ぼぼか) 本格稼働
組合事務局住所を規約変更により
「宮城県岩沼市下野郷字新藤曾根 1 番地の 1」に変更
- ・ 平成 28 年 6 月 岩沼東部環境センター (ぼぼか) 竣工式
- ・ 平成 28 年 10 月 2 市 7 町の一般廃棄物 (ごみ・し尿) を処理する仙南地域
広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物 (ごみ・
し尿) の処理を引き受ける相互応援協定を締結
- ・ 平成 29 年 5 月 名取クリーンセンター解体工事 2 億 5,380 万円で戸田・グリー
ン企画建設特定建設工事共同企業体と契約締結

2 地域の概要（地理・地形的特性）

本組合は、宮城県南東部に位置し、仙台市と隣接する名取市と岩沼市、亶理町及び福島県を境とする山元町の2市2町で構成している。

本地域は、仙台平野の南部にあたり、西部に阿武隈山地の山並みが連なり、東は太平洋を臨み、山や海の自然豊かな風光明媚で気候温暖な地域である。

中央部には平坦地が南北に伸びて、JR東北本線、常磐線、国道4号、6号、仙台東部道路が南北に平行して走り、さらに名取市と岩沼市との境界には国際空港である東北の空の玄関口仙台空港がある。また、平成19年3月18日には、仙台空港アクセス鉄道が開業され、公共交通網の充実と沿線の商業地域や公共施設・住宅街が整備されている地域である。

幹線道路、鉄道沿線には、大小の工場の進出もあり、商工業都市としての発展も期待されている。

奥羽山脈に端を発する国内最大級河川の阿武隈川と名取川が東西に流れて平野部を潤し、肥沃な土地を活かした農業の盛んな地域を育んでいる。

気候は阿武隈山地を背にしており、太平洋に面しているため、市街地での積雪はほとんどなく一年を通じて温暖な地域である。

3 人口及び面積

構成市町の人口は、平成9年度で158,565人であったが、平成18年度には166,088人（4.7%増）となっており、平成21年度においては168,569人（1.5%増）と微増ではあるが増加傾向にあり、今後も増加が見込まれる。

しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により構成市町は甚大な被害を受け、また、死亡者、行方不明者の数は2,000名を超え人口は大きく減少したが、東日本大震災後7年を経過し、復旧復興が進むにつれ人口も増加している。

構成市町の人口及び面積

市町名 区分	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
人口（人）	78,299	44,196	33,683	12,366	168,544
面積（k m ² ）	98.17	60.45	73.60	64.58	296.80

※ 平成30年3月31日現在の住民基本台帳による。

4 行政機構（平成 30 年 7 月 1 日現在）

(1) 執行機関

- 管 理 者 岩沼市長 菊地 啓夫
- 副管理者 名取市長 山田 司郎
- 副管理者 亘理町長 山田 周伸
- 副管理者 山元町長 齋藤 俊夫
- 副管理者 岩沼市副市長 鈴木 隆夫
- 職 員 数 常勤職員 18 人

(2) 議決機関

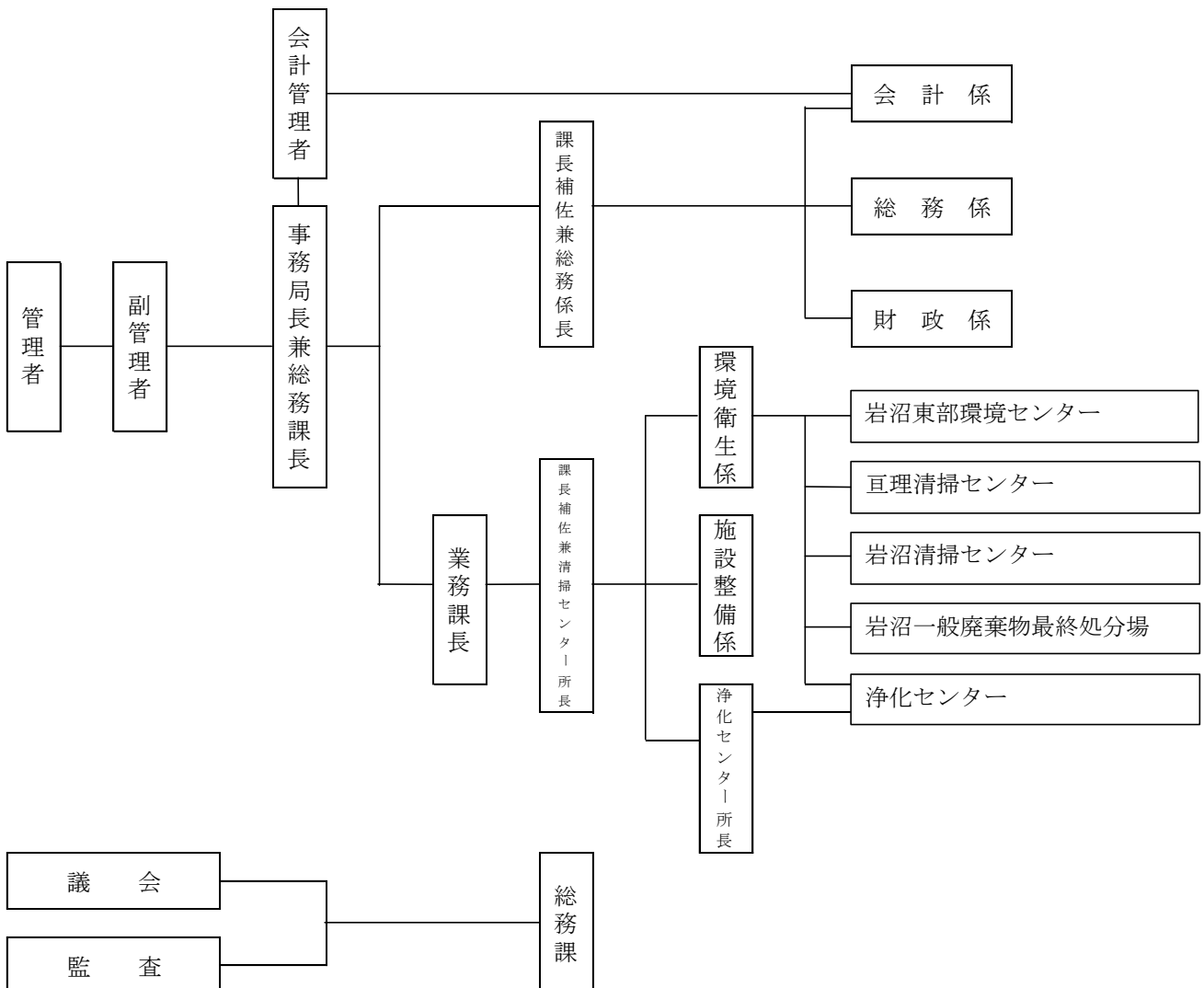
- 組合議会 議員定数 16 人（構成市町議会議員の内よりそれぞれ 4 人を選挙）
- 議 長 鈴木 高行（亘理町議会選出）
- 副 議 長 青田 和夫（山元町議会選出）

(3) 委員会組織

- 監査委員
- 監査委員 山田 龍太郎（名取市議会選出）
- 監査委員 飯塚 悦男（岩沼市議会選出）
- 議会運営委員会
- 委員 長 国井 宗和（岩沼市議会選出）
- 副委員 長 小野 一雄（亘理町議会選出）
- 委 員 大泉 徳子（名取市議会選出）
- 委 員 菊地 康彦（山元町議会選出）

施設管理運営調査特別委員会 委 員 組合議員 16 人

(4) 組織図



5 財政

平成30年度一般会計予算

(1) 歳入

歳入科目	予算額(千円)	構成比(%)
1 分担金及び負担金	1,900,932	84.3
2 使用料及び手数料	202,023	8.9
3 国庫支出金	3,728	0.2
4 財産収入	145,984	6.5
5 繰越金	2,000	0.1
6 諸収入	30	0
歳入合計	2,254,697	100.0

(2) 歳出

歳出科目	予算額(千円)	構成比(%)
1 議会費	3,446	0.2
2 総務費	80,898	3.6
3 衛生費	2,115,212	93.8
4 公債費	53,141	2.3
5 予備費	2,000	0.1
歳出合計	2,254,697	100.0

6 施設の概要

【ごみ処理施設】 対象者：一般住民・委託業者・許可業者

(1) 岩沼東部環境センター 岩沼市下野郷字新藤曾根1-1

敷地面積

37,978.39㎡

工期

平成25年4月～平成28年3月

総事業費

11,024,850千円

(インフレスライド561,600千円含む)

・熱回収施設

ストーカ式焼却炉

施設規模 157t/日(78.5t/24h×2炉)

発電出力 1,990kW

・排ガス処理設備

ろ過式集じん器、有害ガス除去設備他

・飛灰処理設備

重金属類溶出防止処理

・余熱利用設備

ボイラー、ロードヒーティング設備、場内給湯設備、蒸気タービン発電機

・リサイクル施設

施設規模 22.9t/5h

(2) 亘理清掃センター

亘理郡山元町高瀬字杉田2-1

敷地面積

12,531㎡

リサイクル施設(平成28年3月廃プラスチック処理設備の稼働停止)

・附帯設備

資源化設備

処理方式 スクリュー圧縮せん断式

処理能力 13t/5h

PETボトル減容機

処理方式 油圧圧縮梱包式

処理能力 300kg/h

※燃えるごみ・廃プラスチック以外の指定されているごみは、一般持込可能。

【ごみ処理施設】 対象者：委託業者

- (3) 岩沼清掃センター 岩沼市南長谷字山小屋74-36
容器包装ストックヤード（紙類、布類の分別保管施設）
建築面積 483.79㎡
延べ床面積 475.11㎡
・工期 平成17年10月～平成18年11月
・事業費 56,910千円
- (4) 岩沼一般廃棄物最終処分場 岩沼市長岡字栗木平西1-1
敷地面積 41,902㎡
埋立面積 19,880㎡
埋立容量 119,865㎥
処理方式 準好気性埋立構造
浸出液処理施設
・処理方式 回転円板（生物学的脱窒素処理）＋凝集沈殿＋砂ろ過
＋活性炭吸着
・処理能力 45㎥/日（最大90㎥/日）
総事業費 878,320千円
供用開始 昭和61年4月1日

【し尿処理施設】 対象者：委託業者・許可業者

- (5) 浄化センター 岩沼市寺島字川向45-53
敷地面積 19,962.9㎡
・処理方式 高負荷脱窒素処理＋高度処理方式
・処理能力 113kl/日（し尿78kl/日・浄化槽汚泥35kl/日）
・工期 平成3年11月～平成6年12月
・総事業費 3,230,000千円
・その他設備 汚泥乾燥焼却設備・脱臭設備
※東日本大震災により復旧修繕後平成25年3月再稼働開始

7 ごみ処理事業

昭和38年2月にし尿を広域処理するために、一部事務組合として設立されて以来、名取市、岩沼市、亶理町及び山元町のし尿処理業務を行ってきたが、ダイオキシン類の排出抑制並びに効率的なごみ処理を行うこととし、構成市町が広域化に合意して、平成14年4月から新たにごみ処理を加えた広域行政の業務を開始した。

ごみ処理業務を実施するにあたり、本組合に移管された施設のうちで老朽化の著しい岩沼清掃センター焼却施設の稼働を停止して、焼却処理業務は名取クリーンセンターと亶理清掃センターの焼却施設において行うこととして、ダイオキシン類排出抑制のため、両施設において排ガス高度処理工事を行い2施設に集約した。

岩沼清掃センターの焼却施設は平成14年11月に稼働を停止して平成17年度、18年度の2カ年継続の国庫補助事業として焼却施設の解体を行い、跡地に紙類・布類の選別と保管を行う鋼板折板葺き平屋建て延床面積475.11㎡のストックヤードを建設した。

平成21年3月には、岩沼一般廃棄物最終処分場2期工事が終了している。

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、亶理清掃センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成24年9月に復旧修繕が完了し、同年10月から本格稼働を開始した。

平成25年3月に新ごみ処理施設建設工事の契約を行い、平成28年3月31日竣工し、同年4月1日より本格稼働し、同年6月5日に岩沼東部環境センター（ぼぽか）の竣工式を開催した。

平成28年10月14日には2市7町の一般廃棄物（ごみ・し尿）を処理する仙南地

域広域行政事務組合と災害や施設の故障時に一般廃棄物（ごみ・し尿）の処理を引き受ける相互応援協定を締結した。

平成29年5月に名取クリーンセンター解体工事の契約を行った。

【業務概要】

本組合で所管するごみ処理業務は、住民がごみ集積所に出した可燃ごみや資源物を収集車両に積込み、施設に運搬するところから始まり、資源物として出されたものは選別処理を行い有価物として売却し、可燃ごみは焼却処理した後に焼却灰を一般廃棄物最終処分場に埋立て処分するまでの範囲である。これら業務を民間業者に委託して事業を円滑に行っている。

事業系の一般廃棄物は事業者自らが施設に搬入するか、あるいは一般廃棄物収集運搬業の許可業者が、事業者に代わって施設に搬入する。

8 ごみ処理の実績（平成28年度）

（1）市町別排出量及び一人当たり一日の排出量

市町名	区 分	人 口 (平成29年3月末現在)	排出総量 (トン)	内 訳 (トン)		1人あたり1日の排出 量 (グラム)
				家庭系	事業系	
名 取 市		77,962	25,963.54	18,862.44	7,101.10	912.41
岩 沼 市		44,289	15,201.76	11,244.11	3,957.65	940.38
亘 理 町		33,889	9,852.44	8,212.81	1,639.63	796.51
山 元 町		12,469	4,103.46	3,244.88	858.58	901.62
合 計		168,609	55,121.20	41,564.24	13,556.96	全体 895.66
前年度合計		167,944	56,084.97	42,475.55	13,609.42	全体 914.93
比較増減		665	△963.77	△911.31	△52.46	△19.27
前年度比 (%)		0.40	△1.72	△2.15	△0.39	△2.11

（2）種類ごとの市町別搬入状況

【単位：t】

市町名	区 分				合 計
区 分	名取市	岩沼市	亘理町	山元町	
可 燃 ご み	20,796.27	12,525.05	7,771.54	3,101.36	44,194.22
粗 大 ご み	778.27	560.43	480.20	197.67	2,016.57
有害・危険ごみ	72.26	53.50	25.53	11.07	162.36
資 源 物	4,316.74	2,062.78	1,575.17	793.36	8,748.05
小 計	25,963.54	15,201.76	9,852.44	4,103.46	55,121.20
直接埋立物	72.38	39.55	0.00	0.00	111.93
合 計	26,035.92	15,241.31	9,852.44	4,103.46	55,233.13
前年度合計	26,389.10	15,168.26	10,256.92	4,388.22	56,202.50
比較増減	△353.18	73.05	△404.48	△284.76	△969.37
前年度比 (%)	△1.34	0.48	△3.94	△6.49	△1.72

(3) 収集運搬等搬入量

【単位：t】

区分 市町名	代行運搬	委託収集	許可収集	計
名取市	54.15	17,815.90	6,809.17	24,679.22
岩沼市	21.06	10,541.48	3,847.80	14,410.34
亘理町	21.98	7,607.58	1,474.87	9,104.43
山元町	6.73	3,066.20	787.01	3,859.94
合計	103.92	39,031.16	12,918.85	52,053.93

(4) 市町別ごみ搬入量推移

【単位：t】

年度 市町別	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
名取市	21,189	26,016	25,594	26,433	26,214	26,316	25,964
岩沼市	12,820	17,037	15,510	15,348	15,355	15,128	15,202
亘理町	9,190	9,884	10,095	10,284	10,280	10,257	9,852
山元町	4,265	4,031	4,036	4,225	4,325	4,384	4,103
合計	47,464	56,968	55,235	56,290	56,174	56,085	55,121

※ 平成22年度は、平成22年4月から平成23年1月までの実績

(5) 収入状況

① ごみ処理手数料（施設別）

【単位：円】

区分	施設名	岩沼東部環境 センター	名取クリーン センター	岩沼清掃 センター	亘理清掃 センター	合計
代行運搬		2,484,000	—	—	—	2,484,000
許可業者		128,659,700	—	—	528,800	129,188,500
直接搬入一般家庭		25,651,550	—	—	4,922,100	30,573,650
直接搬入事業所		5,279,500	—	—	62,000	5,341,500
合計		162,074,750	—	—	5,512,900	167,587,650
前年度合計額		22,146,700	93,488,150	2,836,200	51,347,800	169,818,850
対前年度比	増減額	139,928,050	△93,488,150	2,836,200	△45,834,900	△2,231,200
	増減率%	631.82	皆減	皆減	△89.26	△1.31

② 資源物売却量及び収入額（施設別）

区分	施設名	岩沼東部環境 センター	名取クリーン センター	岩沼清掃 センター	亘理清掃 センター	合計
スチール缶	重量(t)	150.10	—	—	85.19	235.29
	金額(円)	1,443,380	—	—	797,920	2,241,300
アルミ缶	重量(t)	209.29	—	—	82.42	291.71
	金額(円)	16,684,600	—	—	6,502,310	23,186,910
古新聞	重量(t)	121.42	—	2,271.90	1,025.54	3,418.86
	金額(円)	671,140	—	14,520,590	6,429,420	21,621,150
鉄屑等	重量(t)	662.63	—	—	162.83	825.46
	金額(円)	7,055,162	—	—	1,915,630	8,970,792
ペットボトル	重量(t)	162.37	—	—	58.21	220.58
	金額(円)	5,260,788	—	—	1,886,004	7,146,792

小計	重量(t)	1,305.81	—	2,271.90	1,414.19	4,991.90
	金額(円)	31,115,070	—	14,520,590	17,531,284	63,166,944
容器包装 リサイクル 協会拠出金	有償入札 拠出金	2,355,135	0	0	796,738	3,151,873
	※合理化 拠出金	0	711,443	0	1,590,790	2,302,233
合計金額	金額	33,470,205	711,443	14,520,590	19,918,812	68,621,050
前年度合計額	金額	73,170	30,409,369	18,651,233	32,808,602	81,942,374
対前年度比	増減額	33,397,035	△29,697,926	△4,130,643	△12,889,790	△13,321,324
	増減率%	45,643.07	△97.66	△22.15	△39.29	△16.26

※容器包装リサイクル協会再商品化合理化拠出金は前年度の実績に基づくもの

(6) 施設別焼却処理量

① 岩沼東部環境センター

【単位：t】

市・町	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
区分					
搬入可燃ごみ	20,796.27	12,525.05	7,771.54	3,101.36	44,194.22
中間処理後の可燃物	搬入された粗大ごみ等を解体した後の可燃性ごみ				2,760.14
合計					46,954.36

【単位：t】

市・町	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計	
区分						
回収量	粗大ごみからの回収量	266.51	188.68	83.86	13.33	552.38
	資源物からの回収量	2,049.96	955.05	200.65	63.47	3,269.13
	有害物からの回収量	34.91	26.90	0.05	0.01	61.87
	合計	2,351.38	1,170.63	284.56	76.81	3,883.38

② 亶理清掃センター

【単位：t】

市・町	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計	
区分						
回収量	粗大ごみからの回収量	0.38	2.75	100.95	67.55	171.63
	資源物からの回収量	0.22	1.14	1,171.15	640.72	1,813.23
	有害物からの回収量	0.00	0.00	18.84	7.86	26.70
	合計	0.60	3.89	1,290.94	716.13	2,011.56

(7) 施設別埋立量

① 岩沼一般廃棄物最終処分場

【単位：t】

市町名	名取市	岩沼市	亶理町	山元町	合計
区分					
岩沼東部環境センター焼却灰	2,453.10	1,469.52	918.01	367.18	5,207.81
亶理清掃センター焼却灰	0.13	2.05	2.27	0.98	5.43
浄化センター焼却灰	18.00	11.70	20.30	13.40	63.40
その他（側溝土砂）	72.38	39.55	0.00	0.00	111.93
合計	2,543.61	1,522.82	940.58	381.56	5,388.57

(8) ダイオキシン類測定値 (施設別)

【単位：ng-TEQ/m³N】

区分	施設名	
	測定日	測定結果
1号炉	岩沼東部環境センター	
	平成28年8月18日	0.00076
	10月31日	0.00072
	平成29年1月19日	0.000092
2号炉	3月1日	0.00014
	平成28年8月19日	0.00033
	11月1日	0.00025
	平成29年1月20日	0.00000057
基準値	3月2日	0.004
	1	

9 し尿処理事業

昭和38年2月にし尿処理を広域処理するために、名取市、岩沼町(当時)、亶理町及び山元町の1市3町が構成自治体として広域行政事務組合を設立してし尿処理業務を開始した。汲取り業務は業者に委託して、昭和40年3月に岩沼市早股地区に竣工した処理能力54kℓ/日のし尿処理施設において直営で処理業務を行ってきた。その後、し尿収集量の増加に伴い、昭和45年10月に処理能力75kℓ/日の第1施設を現在地に建設を始め、昭和47年4月から2カ所において増加するし尿の処理に対処してきた。昭和53年4月から第1施設の隣接地に竣工した処理能力80kℓ/日の第2施設が稼動したことにより、日量155kℓの処理が可能となり、増加する一途の収集量に対応できることになった。これにより老朽化が著しい早股地区の施設を停止した。

しかし、環境衛生の向上や快適な生活環境のニーズが高まったことにより、昭和50年頃から浄化槽の普及が進んできたことや流域下水道事業、農業集落排水事業の整備が進められ、昭和60年1月流域下水道の供用が開始された。

その後、構成市町の合併処理浄化槽設置に対する補助制度が整備され、水洗化が普及し、それに反比例してし尿収集量は毎年減少することとなった。

水洗化率の向上によるし尿収集量の減少や第1、第2施設の老朽化による修繕等の維持管理費が増加してきたことなどにより、平成3年11月に現在の施設である浄化センターの建設が開始された。平成5年12月に完成し、1日あたり113kℓ(し尿78kℓ/日・浄化槽汚泥35kℓ/日)を処理できる最新処理方式を備えた新施設が稼動して現在に至っている。

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、浄化センターが甚大な被害を受けたため使用不能となったが、平成25年3月に復旧修繕が完了し、本格稼働を開始した。

【操業状況】

平成28年度においては、し尿等の総収集量は、20,803,810ℓで前年度対比6.65%の減となっている。

し尿については、東日本大震災で沿岸部が被災を受け、汲取り戸数が減少している。

浄化センターの処理能力は、113kℓ/日で、そのうちし尿の受け入れ率は、約70%で、浄化槽汚泥の受け入れ率は約30%と見込んでいたが、合併浄化槽や、下水道の整備が進んだことにより、し尿の受け入れが年々減少し、現在はし尿が約35%、浄化槽汚泥が約65%の構成率となり、当初の計画処理能力から大幅に変更となっている。

10 し尿処理の実績（平成28年度）

(1) 市町別し尿処理人口（外国人を含む。）

【平成29年3月末現在】

区 分	名 取 市	岩 沼 市	亘 理 町	山 元 町	合 計
人 口 (人)	77,962	44,289	33,889	12,269	168,609
世 帯 数 (戸)	29,902	17,377	12,099	4,624	64,002
処理人口 (人)	3,106	2,245	2,824	2,419	10,594

(2) 生し尿及び浄化槽汚泥等搬入量

【単位：ℓ】

区 分	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率(%)	
名取市	生 し 尿	1,947,340	1,838,080	△109,260	△5.61
	浄化槽汚泥	3,813,730	3,931,820	118,090	3.10
	農集排汚泥	702,880	708,280	5,400	0.77
	小 計	6,463,950	6,478,180	14,230	0.22
岩沼市	生 し 尿	1,527,590	1,455,230	△72,360	△4.74
	浄化槽汚泥	2,197,630	1,941,480	△256,150	△11.66
	農集排汚泥	547,110	551,700	4,590	0.84
	小 計	4,272,330	3,948,410	△323,920	△7.58
亘理町	生 し 尿	2,627,570	2,275,110	△352,460	△13.41
	浄化槽汚泥	4,395,790	4,129,590	△266,200	△6.06
	農集排汚泥	0	0	0	—
	小 計	7,023,360	6,404,700	△618,660	△8.81
山元町	生 し 尿	1,715,200	1,610,420	△104,780	△6.11
	浄化槽汚泥	2,810,320	2,362,100	△448,220	△15.95
	農集排汚泥	0	0	0	—
	小 計	4,525,520	3,972,520	△553,000	△12.22
合 計	生 し 尿	7,817,700	7,178,840	△638,860	△8.17
	浄化槽汚泥	13,217,470	12,364,990	△852,480	△6.45
	農集排汚泥	1,249,990	1,259,980	9,990	0.80
	小 計	22,285,160	20,803,810	△1,481,350	△6.65

(3) し尿処理手数料収入状況

【単位：円】

区 分	平成27年度	平成28年度	比較増減	増減率(%)
汲取券売捌き手数料	43,162,985	40,875,530	△2,287,455	△5.30
浄化槽汚泥処分手数料	11,691,340	10,944,550	△746,790	△6.39
農集排汚泥処分手数料	1,104,840	1,109,490	4,650	0.42
公共施設汲取手数料	283,70	297,700	14,000	4.93
合 計	56,242,865	53,227,270	△3,015,595	△5.36

(4) 市町別搬入量推移

【単位：kℓ】

年度 市町別	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
名 取 市	7,855	5,819	6,332	6,730	6,416	6,464	6,478
岩 沼 市	4,361	3,272	3,587	3,950	3,869	4,272	3,948
亘 理 町	8,844	6,330	6,093	7,230	7,008	7,023	6,405
山 元 町	3,981	3,091	3,405	4,004	4,359	4,526	3,973
合 計	25,041	18,512	19,417	21,914	21,652	22,285	20,804

(5) 水質検査結果

項 目	単 位	基 準 値	年度平均測定値
水 素 イ オ ン 濃 度 (pH)	水素指数	5.8~8.6 以下	6.8
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	160 以下	1.3
化学的酸素要求量 (COD)	mg/L	160 以下	2.4
浮 遊 物 質 量 (SS)	mg/L	200 以下	1.0
大 腸 菌 群 数	個/cm ³	3,000 以下	0

(6) ダイオキシシン類測定値

【単位：ng-TEQ/m³N】

測 定 日	基 準 値	測 定 結 果
平成28年9月21日	10	0.02

.....メモ.....